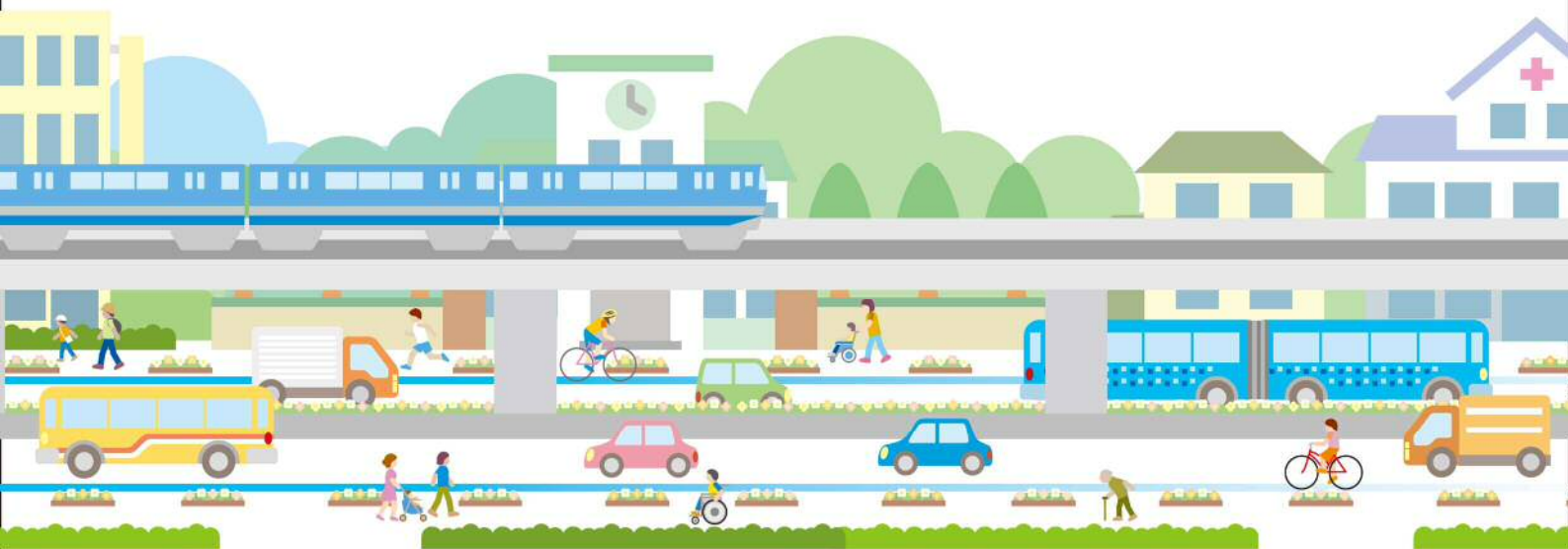




北九州市道路整備 中長期計画

～魅力的で持続可能な
みちづくり～

[概要版]



令和2年4月
北九州市
City of
Kitakyushu



1 計画の概要

●概要

道路は、私たちの日々の暮らしや産業を支える最も身近な社会資本のひとつで、その機能を十分に発揮するためには、計画的・効率的な整備や継続的な維持管理を行うとともに、既存の道路空間を活用していくことが求められています。

一方で、近年は大規模な自然災害により、避難や支援に必要な道路交通アクセスが寸断される等の被害も発生し、災害に強いみちづくりの重要性が改めて認識されたところです。

本計画は、これまでの広域道路ネットワークの形成に加えて、防災・減災、国土強靱化に向けた道路整備等といった新たな二ーズを踏まえ、今後の「みちづくりの方向性」を整理したうえで、それに基づいて具体的に取り組む「主な施策」や計画期間における「みちづくりの効果指標とその目標」等を示し、本市のみちづくりを着実に進めるためのものです。

●計画期間

令和2年度から概ね10年間（概ね5年後を目途に効果検証し、計画の見直しを実施）



●コンセプト

これからのみちづくりは、道路を「活かす」ことに加えて、「SDGs」、「国土強靱化」の取り組みが重要になることから、本計画のコンセプトを『魅力的で持続可能なみちづくり』としました。

北九州市を取り巻く近年の動向

SDGs (エスディーゼース)

○平成27年9月の国連のサミットで、すべての加盟国(193か国)が採択した「持続可能な開発目標」です。これは将来にわたって豊かに暮らし続けるため、「誰一人取り残さない」をキーワードに、世界が抱える貧困、福祉、ジェンダー、経済、環境、平和等のあらゆる課題の解決を目指すものです。

○本市は、平成30年6月に国から「SDGs 未来都市」に選定され、SDGs 戦略の達成に取り組んでいます。



国土強靱化 (こくどきょうじんか)

○「北九州市国土強靱化地域計画」

いかなる自然災害が発生しようとも、市民の生命・財産を守り、被害が致命的なものにならず迅速に回復する「強靱な北九州市」をつくりあげるための指針となる計画です。



国土強靱化地域計画は、各分野別計画の強靱化に関する部分の指針



出典：北九州市国土強靱化地域計画 (R2.2)

2 これまでの取り組み(平成26年度～平成30年度)

●これまでのみちづくりの主な実績

ビジョン 1

都市の発展を支えるみちづくり

都市の発展や物流振興を支えるみちづくり、小倉都心や黒崎副都心等の都市の発展や賑わいを創出するためのみちづくりを行いました。

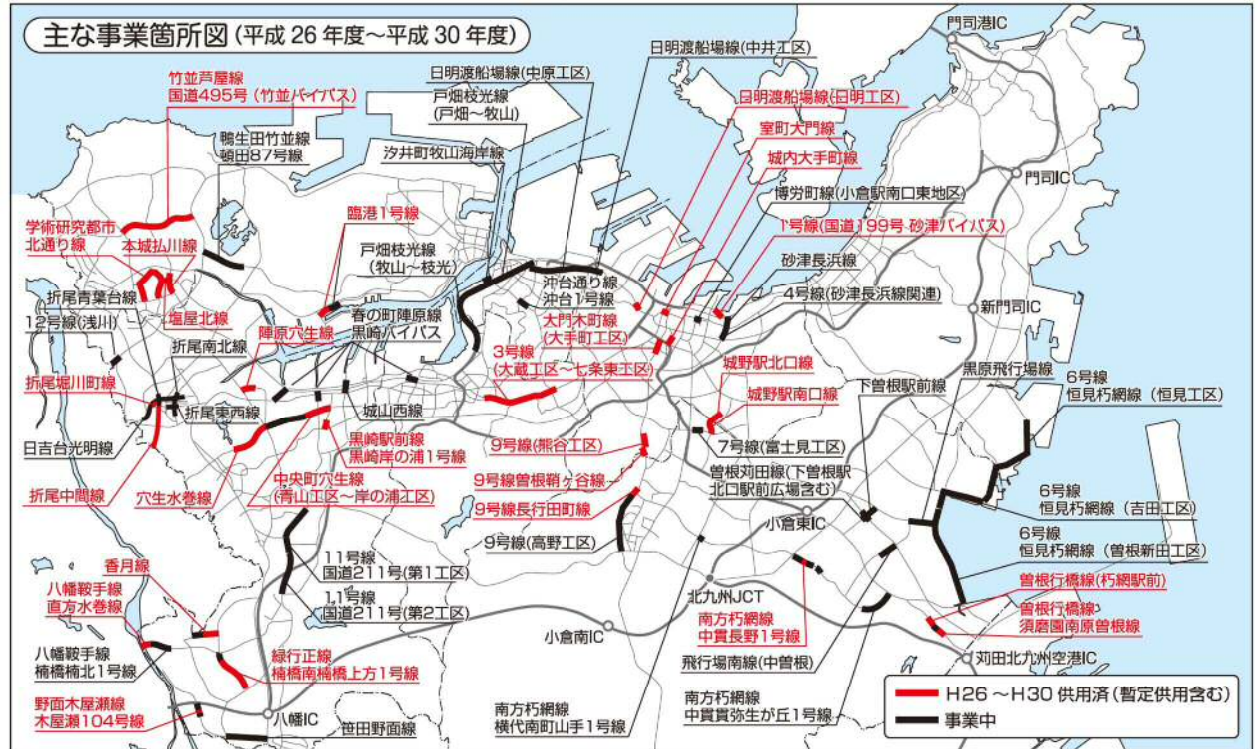
- 国際競争力を強化する広域物流ネットワークの構築
 - ・(都)竹並芦屋線(国道495号竹並バイパス)等
- 都心や副都心等に活力を与える中心市街地の道路整備
 - ・(都)大門木町線 等 ※(都)北九州広域都市計画道路



(都)竹並芦屋線
(国道495号竹並バイパス)



[小倉都心地区](都)大門木町線



ビジョン 2

安全・安心な暮らしを支えるみちづくり

歩行者、車いす、自転車の利用に配慮した人にやさしい安全・安心なみちづくりや、橋梁・トンネル・モノレールの長寿命化対策等、災害に強いみちづくりを行いました。

- 自転車走行空間の整備
- 主要駅周辺の主要道路のバリアフリー化
- 通学路の合同点検
- 通学路や生活道路等の歩道新設、拡幅、バリアフリー化等
- 街路灯及び生活街路灯の整備
- 事故危険箇所に路面標示や減速マーク等の事故防止対策
- 道路の無電柱化
- 土地区画整理事業(北九州学術・研究都市北部、城野駅北地区等)における道路整備
- 橋梁・トンネル・モノレールの長寿命化対策
- 舗装個別施策計画策定及び計画に基づく修繕



整備前
自転車走行空間の整備(浅生高峰1号線)



整備後
自転車レーン



整備前



整備後

エレベータの設置
誘導ブロックの設置
主要駅周辺の主要道路のバリアフリー化(JR安部山公園駅)

美しき環境先進都市を支えるみちづくり

美しい道路景観の創出と沿道環境に配慮したみちづくりや、地域主体との協働による、おもてなしとにぎわいのあるみちづくりを行いました。

- ペDESTリアンデッキのルーフに太陽光パネルを設置
- ヒートアイランド対策として保水性舗装や遮熱性舗装を実施
- JR城野駅やJRスペースワールド駅等の駅前広場の整備
- 地域団体による道路空間を活用したエリアマネジメントを実施
- JR小倉駅東・西側連絡通路のリニューアル
- 北九州市道路サポーター制度によるボランティア団体の活動支援
- 長崎街道沿線等の景観や自然を楽しんでもらう北九州風景街道の推進
- 歩行者向けサインの整備
- 道路照明のLED化



▲駅前広場の整備 (JR城野駅北口)



▲太陽光パネルの設置 (JR黒崎駅ペDESTリアンデッキのルーフ)

●前計画 (H27改訂) の効果指標と目標達成状況

前計画では施策の効果を検証するため、12項目の目標値を設定しました。平成30年度末の実績を検証した結果、12項目中8項目において、目標達成率が9割以上となっています。

一方、主要幹線道路の整備進捗の遅れや整備内容の優先度の見直し等により、目標達成率が9割に満たないものが4項目あります。引き続き、事業の進捗に向けて取り組む必要があります。

効果指標		前計画 (H27改訂)		実績 (H30年度末)	目標達成率	
		現況 (H25年度末)	計画 (H30年度末)			
		ビジョン1 都市の発展を支えるみちづくり				
1	主要渋滞箇所の削減	28箇所	14箇所 (対策箇所)	9箇所 (対策済み)	64%	
2	広域物流ネットワーク道路の供用率	約 90%	約 95%	94%	99%	
ビジョン2 安全・安心な暮らしを支えるみちづくり						
3	主要駅周辺の主要道路のバリアフリー化率	約 90%	約 95%	92%	97%	
4	通学路の合同点検の実施率	0%	約 80%	70%	88%	
5	都心部における自転車走行空間整備延長	4km	約 25km	15km	60%	
6	橋梁・トンネル・	橋梁リニューアル工事の整備率	約 70%	約 90%	84%	93%
7	モノレール	トンネルリニューアル工事の整備率	約 80%	約 100%	95%	95%
8	長寿命化対策	モノレールの劣化・耐震対策の整備率	約 20%	約 70%	47%	67%
ビジョン3 美しき環境先進都市を支えるみちづくり						
9	道路整備によるバスの走行性向上 (平均速度 15km/h 未満のバス路線の割合)	約 15%	約 13%	約 14%	93%	
10	道路整備による排出ガスの年間削減量 (自動車)	1,080 千 t-CO ₂ /年	1,060 千 t-CO ₂ /年	1,070 千 t-CO ₂ /年	99%	
11	北九州市道路サポーターの拡大	196団体	220団体	232団体	105%	
12	都心・副都心の道路照明のLED化率	約 81%	約 100%	100%	100%	

3 北九州市の道路を取り巻く状況

●本市の道路を取り巻く状況

北九州市の現状

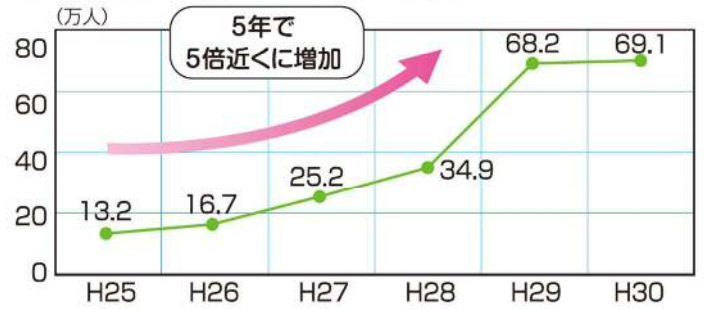
豪雨等の自然災害が頻繁に発生



▲ H30.7豪雨災害 (本町小竹1号線)

▲ H30.7豪雨災害 (北九州都市高速道路)
資料:福岡北九州高速道路公社

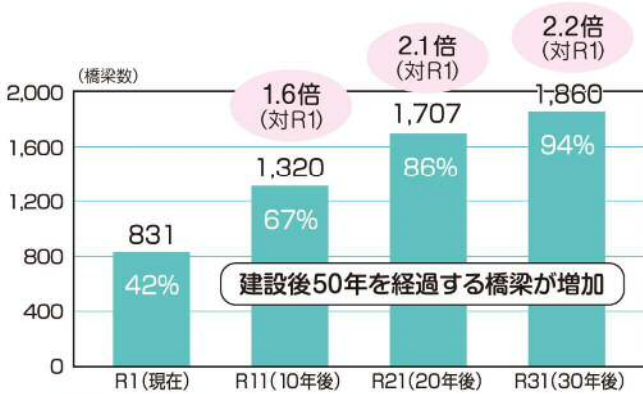
本市を訪れる外国人客数が増加



▲ 北九州市の訪日外国人客数の推移
資料:北九州市産業経済局観光課

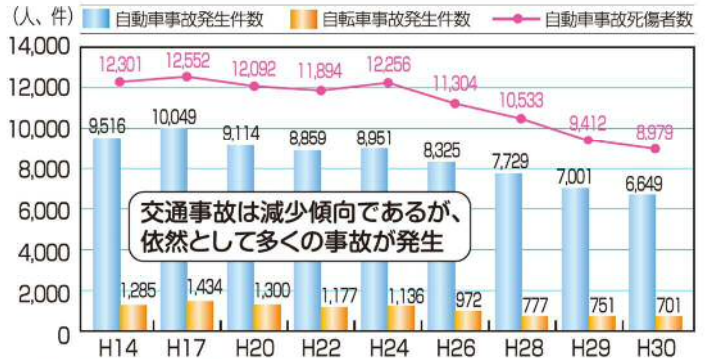
北九州市の道路の現状

老朽化が進む橋梁・トンネル等の道路施設



▲ 建設後50年を経過する橋梁数の推移 資料:北九州市建設局道路維持課

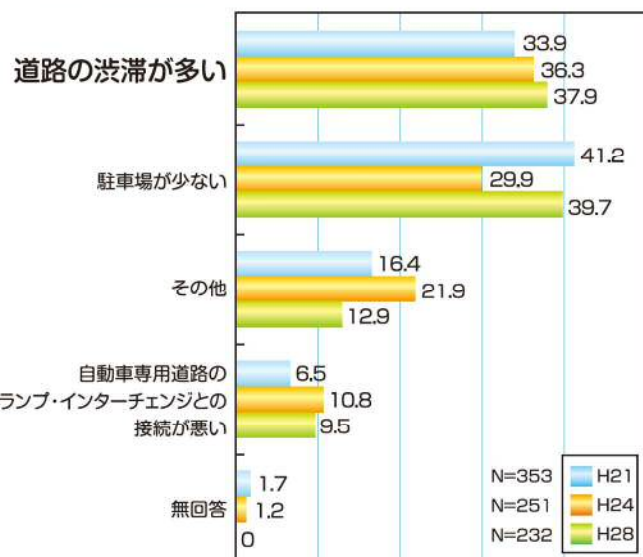
年間7,000件の自動車事故、年間700件の自転車事故が発生



▲ 交通事故発生件数と死傷者数の推移 資料:北九州市統計データ

●みちづくりに関する市民ニーズ

約6割の方が「市内の車移動が便利」と回答。一方で、便利ではないと感じている理由は「道路の渋滞が多い」の回答が多い。



▲ 車での移動が便利ではないと感じている理由
資料:市民意識調査、市政満足度調査
(北九州市広報室広聴課、企画調整局政策部企画課)

●道路整備中長期計画の内容に関する意見

【北九州市の道路整備を考える懇談会】

本計画の策定にあたっては、学識経験者、事業者や道路利用者等、様々な分野の方々と構成する「北九州市の道路整備を考える懇談会」を実施し、幅広くご意見をお伺いしました。

実施日 第1回:令和元年10月 1日(火)
第2回:令和元年10月31日(木)
第3回:令和 2年 2月 6日(木)



▲ 懇談会の実施状況

●みちづくりに関連する計画

近年の全国的な動き及び本計画に関する上位計画等

全国的な動き

インフラ長寿命化基本計画 (H25.11)

第4次社会資本整備重点計画
(H27.9 閣議決定)

重要物流道路制度 (H30.3 創設)

国土強靱化基本計画 (H30.12 変更)

新広域道路交通ビジョン・計画
(R2 以降策定予定)

本計画に関する上位計画等

北九州市基本構想・基本計画 (H25.12 改訂)
[計画期間 H20.12 ~ R2 年度]

北九州市公共施設マネジメント基本計画 (社会インフラ版) (H28.2)

北九州市新成長戦略 (H28.3 改訂)

北九州市国土強靱化地域計画 (R2.2)

第2期北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (R2.4)

北九州市都市計画マスタープラン (H30.3 改訂)

北九州市 SDGs 未来都市計画 (H30.8)

反映

道路分野における基本計画
北九州市道路整備中長期計画 (R2 策定)

連携

反映

本市の関連計画

都心集客アクションプラン (H27.4 一部改正)

北九州市環境首都総合交通戦略 (H28.8)

北九州市地球温暖化対策実行計画・
環境モデル都市行動計画 (H28.8)

北九州市立地適正化計画 (H28.9)

北九州市景観づくりマスタープラン (H31.4)

福岡市・北九州市国家戦略特別区域区域計画 (H30.11)

本市のみちづくりに関する計画等

北九州市道路照明 LED 化基本計画 (H23.5)

北九州市自転車利用環境計画 (H24.11)

北九州市橋梁長寿命化修繕計画 (H29.3)

北九州市トンネル長寿命化修繕計画 (H29.3)

北九州モノレール長寿命化計画 (H23.6)

舗装個別施設計画 (R1.5 改訂)

4 今後のみちづくりの方向性

●今後のみちづくりに必要となる新たな視点・強化する視点

『道路ネットワーク』関連

- 広域道路ネットワークの形成
- 重要物流道路制度
- 都市活動の活性化
- 交通渋滞対策

『安全・安心』関連

- 交通安全対策
- 災害時のリスク低減
- 防災機能強化

『まちづくり』関連

- 都市のコンパクト化
- インバウンド、交流人口の増加への対応
- 道路空間を活用したにぎわいづくり
- 景観に配慮した道路整備

●みちづくりの課題

道路ネットワークの面

■円滑な物流・人流の支援

円滑な物流・人流を支援するための道路整備が必要

■強靱なネットワークの形成

平常時・災害時を問わない広域道路ネットワークの整備やその代替機能の強化が必要

■都市活動の活性化の支援

都心部等のまちなかに活力を生み出すため、市街地を強化する道路整備が必要

■交通の円滑化の支援

依然として市内に交通渋滞箇所が存在するため、交通渋滞対策が必要

安全・安心の面

■交通安全の確保

人優先の安全・安心な歩行空間の整備が必要

■道路施設の機能強化

災害に強いみちづくりを行うため、道路施設の機能強化が必要

■自転車利用環境の確保

自転車事故の削減や自転車の利用促進のため、自転車利用環境の整備が必要

まちづくりの面

■交通結節機能の強化

公共交通の利便性の向上やコンパクトなまちづくりが必要

■道路の魅力向上・にぎわいの創出

市内外の人が集うまちづくりを進めるため、人中心のみちづくりが必要

■地域が主体となって取り組む

活動への支援
地域住民が道路に愛着を持って取り組む活動への支援が必要

●今後のみちづくりの方向性

コンセプト 『魅力的で持続可能なみちづくり』

ビジョン 1

都市の発展と持続を支えるみちづくり

- ①都市の発展や企業の物流振興を支え、国際競争力のある物流拠点都市の形成を図ります。
- ②空港や港湾等の物流拠点や各都市間のアクセスを強化し、平常時・災害時を問わない安定的な物流・人流を確保・活性化するため、広域道路ネットワークの整備を進めます。
- ③小倉都心や黒崎副都心等のまちなかに活力を与える市街地の道路整備を進めます。
- ④市内の主要渋滞箇所を改善し、交通の円滑化を図ります。

ビジョン 2

安全・安心で住みよいまちを支えるみちづくり

- ①誰もが安全・安心に通行できるみちづくりを進めます。
- ②道路の維持管理や道路施設の長寿命化、無電柱化により交通環境の改善を図るとともに、災害に強いみちづくりを進めます。
- ③安全で快適な自転車利用環境の整備を進めます。

ビジョン 3

魅力あふれるまちを支えるみちづくり

- ①交通結節機能の強化により公共交通の利便性を高めるとともに、コンパクトなまちづくりを進めます。
- ②道路空間を活用し、市内外の人でにぎわう、人中心のみちづくりを進めます。
- ③魅力ある道路景観の創出と沿道環境に配慮したみちづくりを進めます。
- ④地域住民が道路に愛着を持って取り組む活動を応援します。

